

〈令和元年度〉 賛助会技術交流会・懇談会

会員の皆様との技術交流を一層深めていくため技術交流会を行います。

JAMSTECの技術的な情報の収集の場、賛助会員様相互の情報交流の場としてご活用ください。

日時 令和元年12月5日(木) 14:30~19:00

場所 富国生命ビル23階 共用会議室A・B・SIP会議室

◎特別講演



AIを活用した「養殖魚サイズ測定自動化サービス」について

〈日本電気株式会社 デジタルプラットフォーム事業部 主任〉 **小林 準 様**

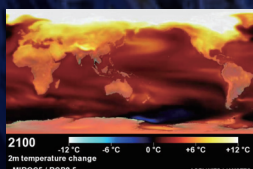
養殖魚の体長を自動的に非接触で測定するサービスを、2019年度より養殖関連の事業者様にご提供しています。本サービスのコア技術であるAIの概要と、パートナー企業と共同開発した水中ステレオカメラについてご説明いたします。

●研究プラットフォーム運用開発部門からの報告

「研究プラットフォーム運用開発部門(MarE3, マーレ)の動向」

〈部門長〉 **倉本 真一**

●技術開発部からの報告



「JAMSTECの技術開発の方向性」

地球温暖化など、海洋を取り巻く環境は、早急な対応が求められています。また、海洋は資源の宝庫としても注目され、安全保障の面からも極めて重要な領域です。こうした背景を踏まえ、海洋状況を広く、正確に、リアルタイムで把握するためにJAMSTECの行っている技術開発の方向性についてご説明いたします。部品調達や要素技術についての課題を挙げ、会員会社の皆様からの様々なご助言を頂きたいと考えております。

①「技術開発の概略や背景について」

〈観測技術研究開発グループ グループリーダー〉 **石原 靖久**

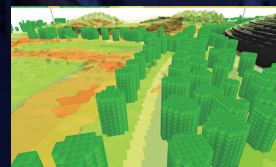
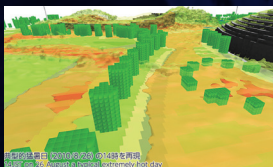
②「ロボティクスの開発と部品調達や要素技術の課題」

〈技術開発部次長／海洋ロボティクス開発実装グループ グループリーダー〉 **永橋 賢司**

③「音響技術の展開」

〈基盤技術研究開発グループ グループリーダー〉 **志村 拓也**

●地球情報基盤センターからの報告



「JAMSTECの大型計算機基盤と大規模環境流体シミュレーション研究の紹介」

〈システム統合環境技術開発グループ グループリーダー〉 **大西 領**

JAMSTECは地球シミュレータとDATA ANALYZERシステムという二つの大型計算機基盤を保有しています。その計算機基盤の紹介と、最新の環境流体シミュレーション研究の紹介をいたします。

●講演



「南海掘削12年で学んだこと、そしてこれから」

〈研究プラットフォーム運用開発部門 部門長〉 **倉本 真一**

2007年9月より開始した南海トラフ地震発生帯掘削は、断続的に掘削を行い、2019年3月末をもって一区切りとなりました。これまでの科学と技術の成果を紹介するとともに、昨年度のプレート境界断層(地震発生帯)を目指した掘削の概要と、今後の方向性を報告いたします。

令和元年度「賛助会技術交流会・懇談会」次第

●日時：12月5日(木) 14:30～19:00

●場所：富国生命ビル23階 共用会議室A・B・SIP会議室

[技術交流会]

14:30～14:40 開会の挨拶 〈理事(開発・運用担当)〉 東 垣

● 研究プラットフォーム運用開発部門からの報告

14:40～15:00 「研究プラットフォーム運用開発部門(MarE3, マーレ)の動向」

〈部門長〉 倉本 真一

● 技術開発部からの報告

15:00～15:45 「JAMSTECの技術開発の方向性」

● 技術開発の概略や背景について

〈観測技術研究開発グループ グループリーダー〉 石原 靖久

● ロボティクスの開発と部品調達や要素技術の課題

〈技術開発部次長／海洋ロボティクス開発実装グループ グループリーダー〉 永橋 賢司

● 音響技術の展開

〈基盤技術研究開発グループ グループリーダー〉 志村 拓也

● 地球情報基盤センターからの報告

15:45～16:15 JAMSTECの大型計算機基盤と
大規模環境流体シミュレーション研究の紹介

〈システム統合環境技術開発グループ グループリーダー〉 大西 領

16:15～16:30 休憩

● 特別講演

16:30～17:00 AIを活用した「養殖魚サイズ測定自動化サービス」について

〈日本電気株式会社 デジタルプラットフォーム事業部 主任〉 小林 準 様

● 講演

17:00～17:30 「南海掘削12年で学んだこと、そしてこれから」

〈研究プラットフォーム運用開発部門 部門長〉 倉本 真一

17:30～17:35 閉会の挨拶 〈海洋科学技術戦略部 部長〉 豊福 高志

17:50～19:00 [懇談会]



JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology